

## ◆事業方針

本年度における取組みは、ポストコロナ時代を見据え、雇用の維持を図ると共に、厚生労働省委託事業「地域雇用活性化推進事業」で高付加価値を生む異業種交流を促進することにより新たな雇用の場を創出する。また、これまでの事業を継続し、地域内の高校生や教員等が地元の「働く場」を知る機会を提供することにより、新規学校卒業者の地元雇用の促進に努めるほか、「ふるさと就職フェア」や「合同企業説明会」の開催を通じて、U・I・Jターン希望者や地元求職者と事業者との雇用マッチングの機会を提供することにより、市内事業所の人材確保を積極的に支援する。

なお、新型コロナウイルスの影響を考慮しつつ、オンライン・オフラインなど多様な形態で事業を実施していく。

項番	事業名	事業概要	委託事業	事業・取組の対象者			開催時期
				18歳未満	大学生等	社会人	
<b>(1)雇用促進事業費</b>							
1	「ふるさと就職フェアin丹後」	一般求職者や就活中の学生を対象に協議会会員事業所・企業を主とした求人情報を提供するとともに、各事業所・企業の魅力を直接PRする場を提供することにより、市内への若者の就職促進、人材確保を推進する。	●	○	○		10月
2	「大学4回生向け仕事と暮らしの相談会（仮称）」	就職活動中の大学・短大の学生等に対して、市内の事業所・企業の情報を伝える機会を提供するだけでなく、先輩社員から住まいや休日の過ごし方など暮らしに関わる情報も伝え、田舎暮らしに興味のある若者の移住と就職を推進する機会とする。（オンライン、オフライン両方開催を検討）	●	○			7月、9月
3	高校生を対象とした就職支援、進路学習に関する取組	丹後管内の高校、支援学校高等部の生徒を中心に丹後地域で活躍する企業や地場産業（業種）に触れる場を設け、地元就職、Uターン就職を促す。		○			第3四半期
4	UIJターン説明会、面接会、相談会、後継者マッチング会	UIJターン求職者に対して企業説明会及び面接会を開催、都市部近郊等での移住支援員や先輩移住者との相談会の開催。	●		○		7月、9月
5	UIJターン就労体験	上記2・4に参加したUIJターン求職者を中心に、実際に京丹後市での就労体験を通じて地域内で働くことをイメージしてもらい、マッチングにつなげていく。	●		○		6月、8月、10月
<b>(2)人材育成事業費</b>							
6	TANGO子ども未来プロジェクト事業	本市の機械金属業のイノベーション及び未来開拓に向けた挑戦を支援するため、平成29年度から開始したTANGO子ども未来プロジェクト事業に係る小・中・高校での出前講座や企業見学等を実施する。		○	○	○	通年
7	TANGO織物産地未来プロジェクト事業	京都市内で実施する丹後織物求評会に都市部の学生・UIターン希望者の来場を受け、織物や産地ならではの魅力を伝えるとともに、ものづくりの楽しさを伝える。		○	○	○	第3四半期
8	ICT、IoTを活用した業務効率化、生産性向上講習会	地域内の事業において、ICT、IoT、AI、自動ロボット等を活用し人材不足下での業務効率の向上やそれらを活用した業務モデルの普及による創業や雇用創出を目指す。	●				第3四半期
9	業務に必要なスキル講習会	地域内の事業者は大半が中小零細企業であり、従業員一人一人の守備範囲が広く、幅広い知識・技術が求められることとなる。このため、それを念頭に置いた中小零細企業で働く従業員に必要なスキルを習得する講習会を実施する。	●		○		第3四半期
<b>(3)広報事業費</b>							
10	協議会ホームページの運用	協議会のホームページで、協議会の活動や企業情報、就職セミナー情報などを一元的に集約して市内外の求職者等に発信する。また、登録者に対してはSNSを通じて、求職者が求める情報を早く効果的に届けるための仕組みづくりを行う。	●	○	○	○	随時
11	協議会HPの他メディア掲載・SNS活用	協議会で実施するイベントや協議会ホームページを他のメディア（Facebook、Google）にターゲットを絞った広告掲載することにより、効率的な周知・集客を図る。	●	○	○	○	随時
12	企業ガイドブック・リーフレットの作成	会員事業所・企業を紹介するガイドブックを作成し、地元高校生やU・Iターン希望者等へ地域産業や地元企業の魅力を発信する。	●	○	○	○	第3四半期

項番	事業名	事業概要	委託事業	18歳未満			開催時期
				大学生等	社会人		
<b>(4) 研修事業費</b>							
15	企業採用担当者向け「採用力強化セミナー」	市内企業の採用担当者向けのセミナーを実施し、自らが確保したい人物像を明確化するとともに、年々、重要度を増すインターンシップの導入に向けた企業意識の醸成を図る。	●			○	7月、9月
16	ふるさとバス事業	都市部で進学・就職した若者向けに無料のふるさとバスを運行し、車内でのふるさと情報の発信、市内で活躍する人との交流、地元企業見学、オフ会への参加等を通じて、地元の魅力を発見し、将来のUターン増加につなげる。また、地元の高校生を対象とした地元企業・産業について学ぶ見学ツアーを実施する。			○	○	通年
17	外国人留学生等交流セミナー・交流会	外国人留学生等の雇用に関するセミナーを開催し、インバウンド対策や海外への事業展開、人手不足の改善を図る。また、留学生と企業がお互いを理解する場として交流会を実施する。			○	○	第4四半期
18	保護者・教員向け企業見学ツアー	生徒・学生が就職する際に影響力をもつ保護者と教員を対象に、バスを使った企業見学を実施し、地元企業や人の魅力を認識することで、子どもや生徒に地元就職、定住を薦め、Uターンにつなげる流れをつくる。			○	○	第3四半期
<b>(5) 企業魅力向上事業</b>							
19	高付加価値を生む異業種交流セミナー、交流会、試作ワークショップ	市内製造業が有する技術やネットワークを生かした新たなイノベーションの活性化や地域資源を生かした観光プランの開発を促し、高付加価値製品の製造・サービスの提供、新分野進出、販路拡大、生産性向上、雇用管理改善等、どのようなことが可能になるのか異業種交流を図り、自社の経営にヒントを与えるセミナー、交流会、ワークショップを実施する。	●				随時
20	高付加価値製品・サービス展開についての伴走型支援及び好事例・ノウハウの地域内企業への展開	上記の講習会を受講した地域内企業を中心に魅力ある雇用づくりに意欲ある地域内企業を選定し、上記の調査結果を踏まえた上で製造業イノベーション、地域資源を生かした観光プラン開発に知見のある専門家、弁理士、中小企業診断士、大学等の専門家を派遣して、高付加価値製品の開発・サービスの提供、そののちの展開についてアドバイス等を行う。 また、取り組みを通じて得られた好事例を収集して地域内へ展開し、地域内における魅力ある雇用の創出を目指す。	●				随時
21	ダイバーシティ人材の雇用講習会、体制整備	地域内では、経営上フルタイム労働に限らず人手を欲している企業が多く、パートタイムや契約社員として従事できる人材（女性、高齢者、障害者等）を雇用できる体制づくりや外国人留学生など多様なニーズに対応した優秀な人材を雇用できる体制づくりを目指す。	●		○	○	第3四半期